

解答

一

- ① 内閣 ② 専門 ③ 翌日 ④ 困 ⑤ 掘 ⑥ そうざ ⑦ ひょうり ⑧ ぶんかつ
⑨ しゅうねん ⑩ とうと（たつと）

二

ウ、キ

三

- ① 四 ② 千 ③ 六

四

- 問一 A エ B イ C オ
問二 1 オ 2 意地 3 厚い 4 温かな
問三 いつも同じ場所に座る
問四 ② ア ③ オ
問五 ウ
問六 ウ
問七 イ

五

- 問一 1 イ 2 ア 3 エ 4 ウ
問二 それぞれの生き方や考え方
問三 ア 3 イ 2
問四 ア
問五 エ
問六 一つひとつを自分の頭で考え、判断し、行動する社会
問七 イ
問八 ア
問九 ア

解説

四

問五 傍線④の前で二つの段落にわたり、雄吾の状況を詳しく表しています。「中学校も、自分の部屋もきちんとあったかいのに、なぜ自分はこうしているのだろうか。」「誰も見ていないし、誰も評価などしてくれないだろう。」「自分のことなど忘れてくれたらいいのに。」等から最も適切なものは選択肢ウとわかります。

問七 本文の後半では、老人がおにぎりをにぎって雄吾を氣にかけている様子や、その気持ちに「ありがたう……ございます」と感謝する雄吾の思いが述べられています。選択肢イが最も適切です。

五

問六 問題文の「端的に」という言葉に注意します。本文の最後の段落で、大学と社会の観点から筆者の主張を述べています。多様性社会がどのような社会かをわかりやすく述べている箇所を探して抜き出します。

問八 傍線⑥の直前の段落に着目します。③段落の内容がランドセルの例を使って具体的に表現されています。勇気が必要な理由は黒や赤以外のランドセルを“異端”として見ている状態がある為であり、最も適当なものは選択肢アとわかります。